



## 2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ナガオカ  
コード番号 6239 URL <https://www.nagaokajapan.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅津 泰久  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 楯本 智也 TEL 06(6261)6600  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年6月期第2四半期の連結業績（2023年7月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	3,520	11.9	595	106.3	645	123.6	432	93.6
2023年6月期第2四半期	3,146	△3.4	288	△42.1	288	△46.9	223	△44.8

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 411百万円 (326.9%) 2023年6月期第2四半期 96百万円 (△80.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	61.42	—
2023年6月期第2四半期	31.72	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	7,931	5,880	74.1
2023年6月期	8,886	5,630	63.4

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 5,880百万円 2023年6月期 5,630百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	23.00	23.00
2024年6月期	—	0.00	—	—	—
2024年6月期（予想）	—	—	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	22.7	1,600	22.0	1,650	22.0	1,080	24.5	153.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期2Q	7,078,400株	2023年6月期	7,078,400株
② 期末自己株式数	2024年6月期2Q	29,237株	2023年6月期	29,199株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期2Q	7,049,184株	2023年6月期2Q	7,049,201株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い行動制限が解除され、経済活動の正常化が進んだことで景気は緩やかな回復傾向となりました。その一方、ウクライナ情勢の長期化、資源・エネルギー価格の高騰、円安の影響や物価の上昇などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、2022年6月期から3ヵ年を計画期間とする中期経営計画「FLIGHT PLAN: VISION 2024」で掲げた「既存事業の深化・拡充」「戦略的パートナーとの連携」「新規市場参入」に取り組み、持続可能な成長を目指しております。

水関連事業では、国内の上水道や食品・農業に関連する分野の水処理を幅広く行っております。また、前連結会計年度より連結子会社となった矢澤フェロマイト株式会社は、上水道・排水処理設備の設計、製作、据付工事を事業としており、これにより対応可能な施設設計・受託範囲が広がり、受注機会が拡大しております。海外においては、新型コロナウイルス感染症拡大による渡航規制や行動制限等は解除されたことから、営業活動を再開しており、当社グループがこれまでに提供してきた取水技術や水処理技術を基盤に需要の創出・獲得に向けて取り組んでおります。

エネルギー関連事業では、安定的に収益を確保できる体制の構築が課題と考えており、プラント設備に対するメンテナンスサービスの強化を行い、サービス提供面で顧客と対話を重ね、信頼関係を深化させ、設備更新ニーズを早期に把握することを目指し取り組んでおります。また、受注機会の拡大や新たな受注機会の創出を目指し、製造コスト低減による価格競争力の強化、プロセス・オーナーとの関係構築・深化、これまで認証を取得していない新たなプロセス・オーナーとの関係構築に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間では、新設並びに設備更新の大型案件を受注し、那賀設備（大連）有限公司（以下「大連工場」という。）において、生産計画の組み替えを実施しております。結果、大連工場は、高い稼働率を維持し、収益の向上に寄与しております。また、外注加工費等の製造に係る費用について低減を図るなど、利益の増加に努めました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,520,468千円（前年同期比11.9%増）、営業利益595,322千円（前年同期比106.3%増）、経常利益645,080千円（前年同期比123.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益432,963千円（前年同期比93.6%増）となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりです。

#### ① 水関連事業

取水分野では、各地で進められている取水設備の老朽化や耐震化に伴う改修工事等により、取水スクリーンの需要は底堅く、受注は堅調に推移しております。また、水処理分野においても、官公庁向け並びに民間企業向けの案件を獲得できており、順調に受注は積み上がっております。一方で、当第2四半期連結累計期間の成績は、一部の案件については工事の進捗度に応じて収益を計上しているものの、納期・工期が当連結会計年度の下半期となっている案件が多く、前連結会計年度と比較し低調な状況となっております。

これらの結果、売上高904,937千円（前年同期比7.8%減）、セグメント損失39,484千円（前年同期はセグメント損失31,252千円）となりました。

#### ② エネルギー関連事業

エネルギー関連事業では、中国経済の成長鈍化、ウクライナ情勢の長期化、資源・エネルギー価格の高騰、物価上昇等の様々な要因により、顧客各社は新規プラント建設投資には慎重な姿勢にあるものの、設備更新を中心とした既存プラントへの設備投資は回復傾向にあります。当社グループでは、新規プラント建設計画に関して継続的に情報収集に努めるとともに、既存プラントの更新需要に対して積極的に営業活動を進め、当第2四半期連結累計期間において新設並びに設備更新の大型案件を受注しております。その結果、大連工場において、生産計画の組み替えを行い、高い稼働率を維持することで収益の向上に努めました。また、外注加工費等の製造に係る費用について低減を図ることで利益の増加に努めました。

これらの結果、売上高2,615,530千円（前年同期比20.8%増）、セグメント利益889,962千円（前年同期比66.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は7,931,004千円となり、前連結会計年度末に比べ955,912千円減少しました。これは主に、仕掛品が178,579千円、現金及び預金が157,765千円、投資その他の資産のその他が104,467千円それぞれ増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が1,192,560千円減少したことによるものです。

負債合計は2,050,902千円となり、前連結会計年度末に比べ1,205,434千円減少しました。これは主に、短期借入金486,752千円、支払手形及び買掛金が349,884千円、流動負債のその他が265,585千円、未払法人税等が114,274千円それぞれ減少したことによるものです。

純資産合計は5,880,102千円となり、前連結会計年度末に比べ249,522千円増加しました。これは主に、配当金の支払により利益剰余金が162,131千円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が432,963千円増加したことによるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は2,179,221千円となり、前連結会計年度末に比べ157,765千円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりです。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は1,019,249千円（前年同四半期は50,490千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益644,616千円及び売上債権の減少額1,234,961千円の増加要因に対し、仕入債務の減少額348,883千円及び法人税等の支払額237,815千円の減少要因によるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は136,160千円（前年同四半期は16,654千円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出99,137千円及び有形固定資産の取得による支出32,707千円の減少要因によるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は692,296千円（前年同四半期は212,574千円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額493,675千円及び配当金の支払額161,930千円の減少要因によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2023年8月9日に公表しました2024年6月期の通期連結業績予想を修正しました。なお、当該予想に関する詳細は、本日（2024年2月9日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,112,685	2,270,450
受取手形、売掛金及び契約資産	3,995,173	2,802,612
電子記録債権	312,064	270,464
商品及び製品	9,559	16,739
仕掛品	121,618	300,198
原材料及び貯蔵品	398,970	372,731
その他	258,764	234,474
貸倒引当金	△7,081	△2,538
流動資産合計	7,201,755	6,265,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	704,308	692,816
機械装置及び運搬具（純額）	199,666	200,575
土地	149,095	149,095
リース資産（純額）	40,436	21,571
建設仮勘定	8,122	7,060
その他（純額）	60,024	50,563
有形固定資産合計	1,161,654	1,121,682
無形固定資産		
のれん	19,151	16,757
その他	314,730	300,129
無形固定資産合計	333,881	316,886
投資その他の資産		
繰延税金資産	82,094	15,302
その他	107,531	211,999
投資その他の資産合計	189,625	227,302
固定資産合計	1,685,161	1,665,871
資産合計	8,886,916	7,931,004

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	917,037	567,152
短期借入金	953,643	466,891
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	33,524	9,924
未払法人税等	206,539	92,265
賞与引当金	3,770	4,079
役員賞与引当金	—	46,500
その他	841,686	576,101
流動負債合計	2,966,200	1,772,913
固定負債		
社債	20,000	15,000
長期借入金	160,460	155,498
退職給付に係る負債	80,530	80,238
繰延税金負債	—	1,945
その他	29,146	25,307
固定負債合計	290,136	277,988
負債合計	3,256,337	2,050,902
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,253,241	1,253,241
資本剰余金	785,195	785,195
利益剰余金	3,121,648	3,392,480
自己株式	△20,106	△20,146
株主資本合計	5,139,979	5,410,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△1,622
繰延ヘッジ損益	△15,253	3,354
為替換算調整勘定	505,853	467,599
その他の包括利益累計額合計	490,600	469,331
純資産合計	5,630,579	5,880,102
負債純資産合計	8,886,916	7,931,004

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,146,985	3,520,468
売上原価	2,168,957	2,044,092
売上総利益	978,027	1,476,376
販売費及び一般管理費	689,464	881,053
営業利益	288,562	595,322
営業外収益		
受取利息	2,616	3,189
為替差益	567	10,808
スクラップ売却益	7,295	35,273
補助金収入	10,504	11,012
その他	889	2,549
営業外収益合計	21,872	62,833
営業外費用		
支払利息	19,386	12,996
支払手数料	2,486	76
その他	91	2
営業外費用合計	21,964	13,075
経常利益	288,471	645,080
特別利益		
固定資産売却益	—	310
特別利益合計	—	310
特別損失		
固定資産売却損	—	336
固定資産除却損	123	438
特別損失合計	123	774
税金等調整前四半期純利益	288,348	644,616
法人税、住民税及び事業税	60,363	150,388
法人税等調整額	4,394	61,265
法人税等合計	64,758	211,653
四半期純利益	223,589	432,963
親会社株主に帰属する四半期純利益	223,589	432,963

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	223,589	432,963
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△1,622
繰延ヘッジ損益	60,603	18,608
為替換算調整勘定	△187,745	△38,254
その他の包括利益合計	△127,141	△21,268
四半期包括利益	96,447	411,694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,447	411,694

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	288,348	644,616
減価償却費	111,321	91,760
のれん償却額	2,393	2,393
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△494	△4,542
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,891	309
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	17,250	46,500
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	725	△292
受取利息及び受取配当金	△2,654	△3,189
支払利息	19,386	12,996
支払手数料	2,486	76
固定資産除却損	123	438
為替差損益 (△は益)	△3,283	367
売上債権の増減額 (△は増加)	△152,922	1,234,961
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△28,353	△161,695
仕入債務の増減額 (△は減少)	25,215	△348,883
未払費用の増減額 (△は減少)	△67,340	△66,580
契約負債の増減額 (△は減少)	186,295	△53,611
その他	△80,541	△125,918
小計	319,846	1,269,706
利息及び配当金の受取額	2,654	3,189
利息の支払額	△20,769	△15,832
法人税等の支払額	△251,240	△237,815
営業活動によるキャッシュ・フロー	50,490	1,019,249
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	—	△99,137
有形固定資産の取得による支出	△11,001	△32,707
無形固定資産の取得による支出	△150	△1,965
差入保証金の差入による支出	△5,922	△2,367
差入保証金の回収による収入	94	—
その他	325	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,654	△136,160
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△15,244	△493,675
長期借入れによる収入	77,000	—
長期借入金の返済による支出	△123,662	△28,562
社債の償還による支出	△5,000	△5,000
リース債務の返済による支出	△2,371	△3,011
配当金の支払額	△140,809	△161,930
その他	△2,486	△116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△212,574	△692,296
現金及び現金同等物に係る換算差額	△67,893	△33,026
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△246,631	157,765
現金及び現金同等物の期首残高	2,027,293	2,021,456
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,780,661	2,179,221

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エネルギー関連	水関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,165,711	981,274	3,146,985	—	3,146,985
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,165,711	981,274	3,146,985	—	3,146,985
セグメント利益又は損失(△)	533,614	△31,252	502,362	△213,799	288,562

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△213,799千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年7月1日至2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エネルギー関連	水関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,615,530	904,937	3,520,468	—	3,520,468
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,615,530	904,937	3,520,468	—	3,520,468
セグメント利益又は損失(△)	889,962	△39,484	850,477	△255,155	595,322

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△255,155千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。